

# 瀬戸内オリーブ基金ニュースレター

瀬戸内の美しいふるさとを次の世代に

\*このニュースレターは、当基金サポーター会員、配信登録をいただいた方、イベントなどで名刺交換をさせていただいた方にお送りしております。

瀬戸内オリーブ基金は、11月15日に25周年を迎えました。

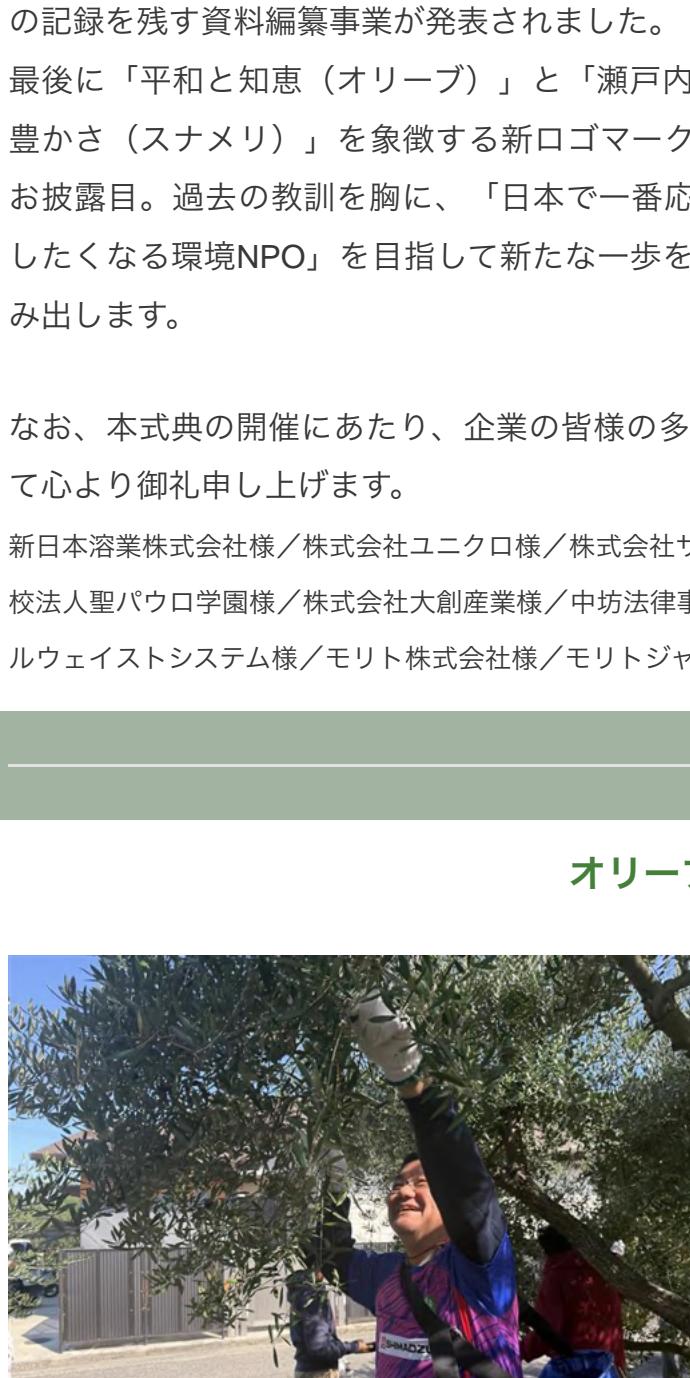
これまで活動を続けてこられたのは、豊島のみなさまをはじめ、助成先、法人・個人サポーター、そして各地から関わってくださった多くの方々のおかげです。

節目の時期に重ねていただいたご支援に、改めて御礼申し上げます。

本号では、25周年記念式典の様子と10月24日～11月6日の25周年週間の活動をご紹介します。

## 瀬戸内オリーブ基金設立25周年記念式典を開催

2025年11月8日、岡山国際交流センターにて「瀬戸内オリーブ基金25周年記念式典」を開催いたしました。当日は、長きにわたり活動を支えてくださった企業、行政、教育機関、そして住民の皆さまなど71名が集い、四半世紀の歩みを振り返るとともに、未来へのビジョンを共有する場となりました。

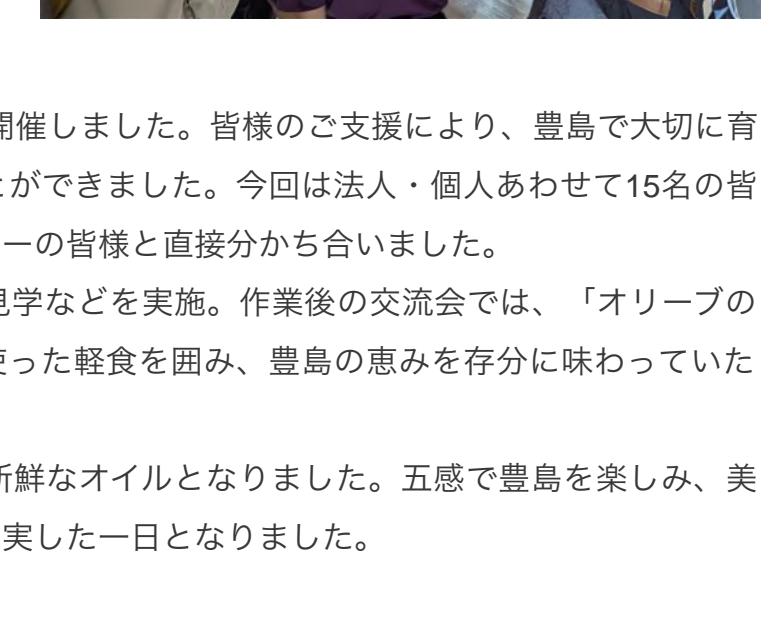


### 継続への想い

冒頭、池田豊人香川県知事、真鍋武紀元知事よりご祝辞をいただいたほか、安藤忠雄氏、柳井正氏（ファーストリティリング）よりビデオメッセージが寄せられました。両氏の言葉と共に通じていたのは「継続することの重み」。一過性ではなく、世代を超えて関わり続ける尊さを会場全体で再確認いたしました。

### 2つの記念講演と、未来への提言

プログラム中盤では、科学と法の視点から2つの記念講演が行われました。まず登壇した中地重晴氏（当基金理事熊本学園大学社会福祉学部教授）は、自身の経験を踏まえ、専門家が「住民と行政の通訳」として果たすべき役割の重要性を語りました。続いて行われた大川真郎氏（豊島弁護団元副団長）の講演に先立ち、山陽新聞社の影山美幸氏よりメッセージが寄せされました。影山氏は「海は暮らしを映す鏡」と述べ、故・中坊公平氏の植樹ビジョンが結実した25年の成果を強調。そのバトンを受け、大川氏は豊島を「教訓の宝庫」とし、負の歴史を世界へ伝える「学びの島」への転換を力強く提言しました。



### つながりが育む未来

後半のセッションでは、企業、NPO、教育機関の皆様にご登壇いただきました。現場での実践報告や豊島での体験が語られ、特に企業の担当者様が自らの言葉で語る「環境への想い」は、会場の深い共感を呼びました。これからの環境教育には、個別の活動ではなく連携が必要であることが確認され、当基金が各立場の「接着剤」となり、それぞれの強みをつなぎ合わせていく役割が共有されました。



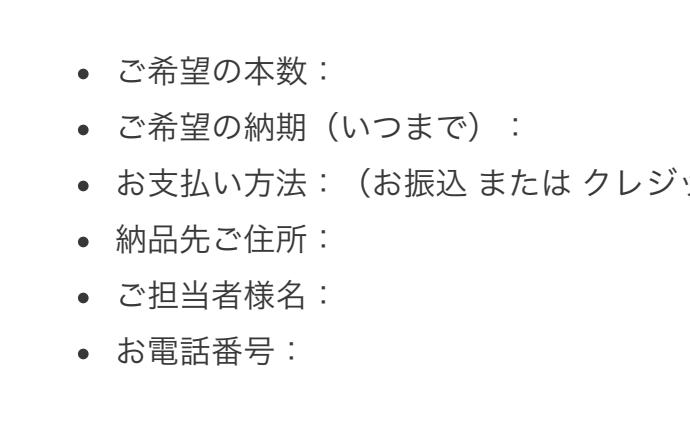
### 次の25年に向けて

式の結びには、新たな協働の形として(株)大創産業様との商品開発プロジェクトや、豊島事件30年の記録を残す資料編纂事業が発表されました。最後に「平和と知恵（オリーブ）」と「瀬戸内の豊かさ（スナメリ）」を象徴する新ロゴマークをお披露目。過去の教訓を胸に、「日本で一番応援したくなる環境NPO」を目指して新たな一步を踏み出します。

なお、本式典の開催にあたり、企業の皆様の多大なるご協賛・ご協力をいただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

新日本溶業株式会社様／株式会社ユニクロ様／株式会社サンモール様／株式会社島津製作所様／スターセンス株式会社様／学校法人パウロ学園様／株式会社大創産業様／中坊法律事務所様／マリーンエンタープライズ株式会社様／株式会社メディカルウェイストシステム様／モリト株式会社様／モリトジャパン株式会社様

## オリーブ収穫祭を開催

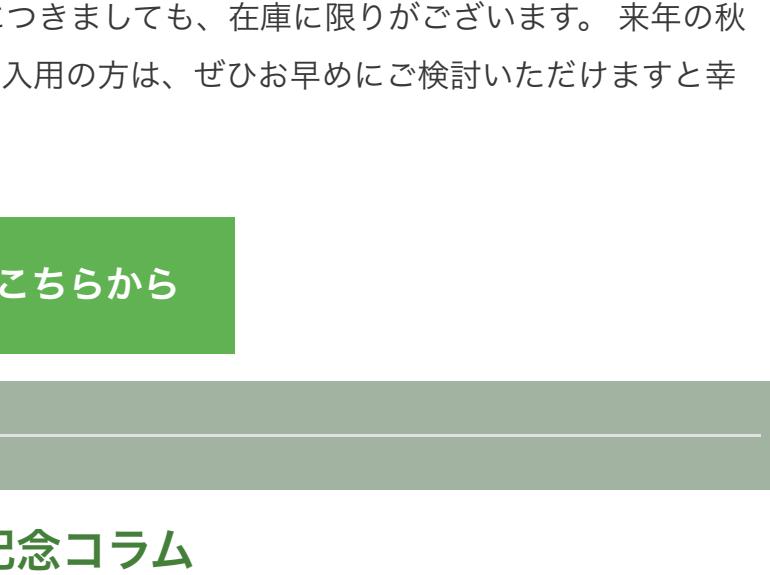
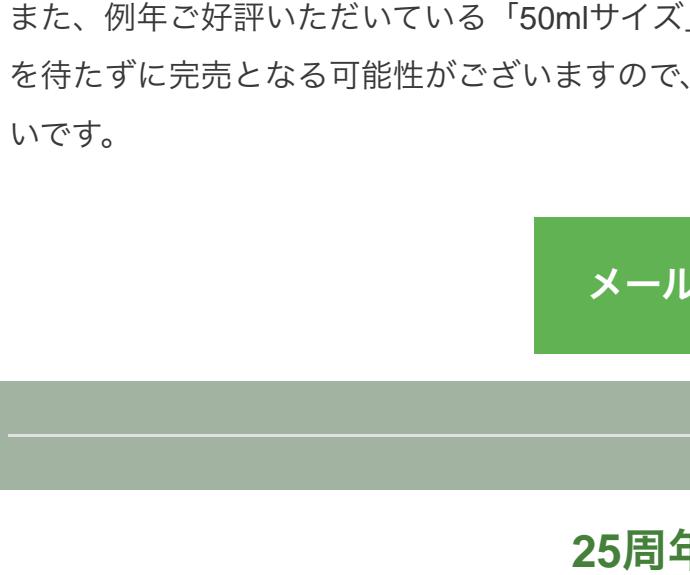


10月24日（金）、豊島にて「オリーブ収穫祭」を開催しました。皆様のご支援により、豊島で大切に育ててきたオリーブが今年も無事に実りを迎えることができました。今回は法人・個人あわせて15名の皆様にお集まりいただき、その結果の喜びをサポーターの皆様と直接分かち合いました。

当日はオリーブの手摘み収穫に加え、産廃現場の見学などを実施。作業後の交流会では、「オリーブの新漬け」や、今年のオリーブオイルと地元食材を使った軽食を囲み、豊島の恵みを存分に味わっていました。

なお、皆様と収穫した実は翌日すぐに搾油され、新鮮なオイルとなりました。五感で豊島を楽しみ、美味しい食事と共にサポーター同士の交流も深まる充実した一日となりました。

## (株)大創産業 初の社内環境教育プログラムを豊島で開催



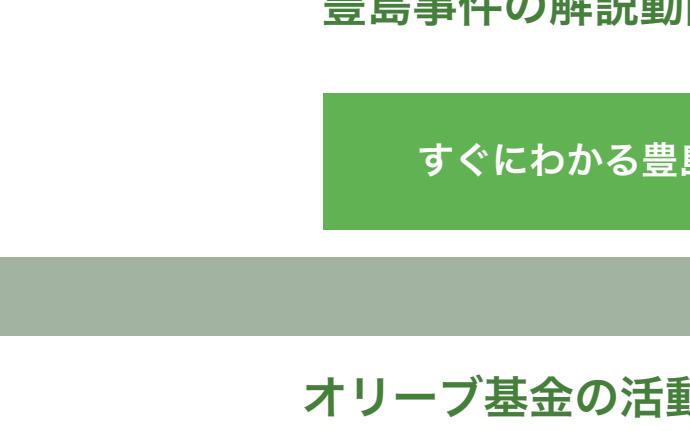
10月25日（土）、大創産業様にとって初となる社内環境教育プログラムを豊島で実施し、同社の従業員とそのご家族23名（うち小学生6名）にご参加いただきました。

本企画は、豊島事件やオリーブ基金の活動背景、そしてその必要性を、現場での体験を通じて肌で感じていただくことを目的に実施しました。当日は産廃処分地と資料館での学習を経て、オリーブ収穫へ。皆様のチームワークと熱意により、わずか1時間で80kg以上もの実を収穫しました。その後の「オリーブのオイル漬け」作りは、当基金初の試みでしたが大変好評で、豊島の味を瓶に詰めてお持ち帰りいただきました。

この日の体験を通じて、オリーブ基金への理解だけでなく、ご家庭でも豊島の歴史や身近な環境保全について話し合うきっかけが生まれることを願っています。

なお、同社のブランド「Standard Products」では、11月10日より「豊島OLIVE」を使用したスキンケアシリーズが発売されています。本商品の売上の一部は当基金へ寄付されますので、ぜひ店頭で手に取っていただけますと幸いです。

## ユネスコ「海洋教育フォーラム」との連携で豊島フィールドワークを実施



10月26日（日）、ユネスコ・アジアセンター（ACCU）主催「海洋教育フォーラム」の一環として、豊島での環境学習を実施しました。

本企画は、株式会社ファーストリティリングとのパートナーシップ（「JOIN: THE POWER OF CLOTHING」）に基づき、日本と東南アジア3カ国で次世代リーダーを育成することを目的としています。

当日は、幅広い年代や海外のバックグラウンドをお持ちの方を含む20名が参加。豊島美術館や産廃現場の見学、住民の方との座談会を行いました。

その後のグループワークでは、「二度と繰り返さないために何ができるか」をそれぞれの視点で議論。世代や国籍を超え、一人ひとりが豊島の教訓をこれから社会づくり、生活にどう活かすか、真剣に向き合う一日となりました。

## (学)聖パウロ学園×東レ(株)×ユニクロとの環境学習を実施



10月6日（木）、聖パウロ学園光泉カトリック中学校1年生（71名）と共に、東レ滋賀事業場にて環境学習を行いました。本企画は、豊島での現地学習（6月実施）と対になるプログラムです。豊島では、不法投棄現場や海岸清掃を通じ、ゴミが適切に処理されなかった場合の「代償」と、自分たちの住む琵琶湖から海へゴミが流出している可能性を学びました。

対して今回は、適切に分別されたゴミが迫る「資源循環」の現場を視察。東レ様・ユニクロ様の事例から、私たちが正しい方法で手放すことで、ゴミが再び服などの価値あるものへ生まれ変わることを知りました。

プログラムの最後には、生徒が持ち寄った「自宅の不用品写真」をもとに、捨てる以外の選択肢を考えるワークを実施。「金属製のハサミを溶かして新しい道具にする」「着なくなった服を丸めて犬のおもちゃにする」など、中学1年生らしい柔軟でユニークなアイデアが次々と飛び出し、会場を沸かせました。

全体を通して伝えたかったのは、「ゴミは手元から離れてても、そこで終わりではない」ということ。見えなくなった“その先”までを想像し、責任ある選択ができる人になってほしいという願いを込めた一日となりました。

## 2024年度産オリーブオイルのご注文を受け付けます

今年のオリーブオイルがまもなく出来上がります。

本年度より、受注生産でお作りすることになりました。200mlサイズをご希望の方は、お手数ですがメール（info@olive-foundation.org）にてご連絡をお願いいたします。ご注文の際は、以下の項目をお知らせください。お手数ですが瓶詰めの都合上、12/4までにご連絡をお願いいたします。

### 【200mlサイズ ご注文用・記載事項】

- ご希望の本数：
- ご希望の納期（いつまで）：
- お支払い方法：（お振込またはクレジットカード）
- 納品先ご住所：
- ご担当者様名：
- お電話番号：

また、例年ご好評いただいている「50mlサイズ」につきましても、在庫に限りがございます。来年の秋を待たずに完売となる可能性がございますので、ご入用の方は、ぜひお早めにご検討いただけますと幸いです。

メールはこちらから

10月26日（日）、ユネスコ・アジアセンター（ACCU）主催「海洋教育フォーラム」の一環として、豊島での環境学習を実施しました。

本企画は、株式会社ファーストリティリングとのパートナーシップ（「JOIN: THE POWER OF CLOTHING」）に基づき、日本と東南アジア3カ国で次世代リーダーを育成することを目的としています。

当日は、幅広い年代や海外のバックグラウンドをお持ちの方を含む20名が参加。豊島美術館や産廃現場の見学、住民の方との座談会を行いました。

その後のグループワークでは、「二度と繰り返さないために何ができるか」をそれぞれの視点で議論。世代や国籍を超え、一人ひとりが豊島の教訓をこれから社会づくり、生活にどう活かすか、真剣に向き合う一日となりました。

この日の体験を通じて、オリーブ基金への理解だけでなく、ご家庭でも豊島の歴史や身近な環境保全について話し合うきっかけが生まれることを願っています。

なお、同社のブランド「Standard Products」では、11月10日より「豊島OLIVE」を使用したスキンケアシリーズが発売されています。本商品の売上の一部は当基金へ寄付されますので、ぜひ店頭で手に取っていただけますと幸いです。

## ユネスコ「海洋教育フォーラム」との連携で豊島フィールドワークを実施



10月26日（日）、ユネスコ・アジアセンター（ACCU）主催「海洋教育フォーラム」の一環として、豊島での環境学習を実施しました。

本企画は、株式会社ファーストリティリングとのパートナーシップ（「JOIN: THE POWER OF CLOTHING」）に基づき、日本と東南アジア3カ国で次世代リーダーを育成することを目的としています。

当日は、幅広い年代や海外のバックグラウンドをお持ちの方を含む20名が参加。豊島美術館や産廃現場の見学、住民の方との座談会を行いました。

その後のグループワークでは、「二度と繰り返さないために何ができるか」をそれぞれの視点で議論。世代や国籍を超え、一人ひとりが豊島の教訓をこれから社会づくり、生活にどう活かすか、真剣に向き合う一日となりました。

この日の体験を通じて、オリーブ基金への理解だけでなく、ご家庭でも豊島の歴史や身近な環境保全について話し合うきっかけが生まれることを願っています。

なお、同社のブランド「Standard Products」では、11月10日より「豊島OLIVE」を使用したスキンケアシリーズが発売されています。本商品の売上の一部は当基金へ寄付されますので、ぜひ店頭で手に取っていただけますと幸いです。

## 2024年度産オリーブオイルのご注文を受け付けます

今年のオリーブオイルがまもなく出来上がりります。

本年度より、受注生産でお作りすることになりました。200mlサイズをご希望の方は、お手数ですがメール（info@olive-foundation.org）にてご連絡をお願いいたします。ご注文の際は、以下の項目をお知らせください。お手数ですが瓶詰めの都合上、12/4までにご連絡をお願いいたします。

### 【200mlサイズ ご注文用・記載事項】

- ご希望の本数：
- ご希望の納期（いつまで）：
- お支払い方法：（お振込またはクレジットカード）
- 納品先ご住所：
- ご担当者様名：
- お電話番号：

また、例年ご好評いただいている「50mlサイズ」につきましても、在庫に限りがございます。来年の秋を待たずに完売となる可能性がございますので、ご入用の方は、ぜひお早めにご検討いただけますと幸いです。

メールはこちらから

10月26日（日）、ユネスコ・アジアセンター（ACCU）主催「海洋教育フォーラム」の一環として、豊島での環境学習を実施しました。

本企画は、株式会社ファーストリティリングとのパートナーシップ（「JOIN: THE POWER OF CLOTHING」）に基づき、日本と東南アジア3カ国で次世代リーダーを育成することを目的としています。

当日は、幅広い年代や海外のバックグラウンドをお持ちの方を含む20名が参加。豊島美術館や産廃現場の見学、住民の方との座談会を行いました。

その後のグループワークでは、「二度と繰り返さないために何ができるか」をそれぞれの視点で議論。世代や国籍を超え、一人ひとりが豊島の教訓をこれから社会づくり、生活にどう活かすか、真剣に向き合う一日となりました。

この日の体験を通じて、オリーブ基金への理解だけでなく、ご家庭でも豊島の歴史や身近な環境保全について話し合うきっかけが生まれることを願っています。

なお、同社のブランド「Standard Products」では、11月10日より「豊島OLIVE」を使用したスキンケアシリーズが発売されています。本商品の売上の一部は当基金へ寄付されますので、ぜひ店頭で手に取っていただけますと幸いです。

## 25周年記念コラム

瀬戸内オリーブ基金の25周年を記念してお届けしている、当基金運営委員が寄稿するコラムです。

### 当基金の活動をご支援いただきありがとうございます

瀬戸内オリーブ基金は認定NPO法人ですので、ご寄附をいただいた場合には、所得税では寄付金控除、法人税では損金算入限度額の増加、相続税では寄附をした相続財産が非課税になるという税制優遇措置があります。

認定NPO法人制度は、NPO法人が行う公益的な活動を寄附を通して支援しやすくすることを目的とした制度です。

認定NPO法人であるためにはいくつかの基準を満たしている必要がありますが、事業活動に関する基準として、寄附金の70%以上を特定非営利活動に係る事業費に充てることが求められます。

これにより、受け取った寄附金を使わずに手元に留保することや、管理費に使うことが制限されることになり、NPO法人のミッションに沿った活動に使われる仕組みとなっています。

当基金は、これから先も皆様にご支援いただけるよう、事業に取り組んでいきます。

藤田恵介（オリーブ基金監事・公認会計士・税理士）

10月26日（日）、ユネスコ・アジアセンター（ACCU）主催「海洋教育フォーラム」の一環として、豊島での環境学習を実施しました。

本企画は、株式会社ファーストリティリングとのパートナーシップ（「JOIN: THE POWER OF CLOTHING」）に基づき、日本と東南アジア3カ国で次世代リーダーを育成することを目的としています。

当日は、幅広い年代や海外のバックグラウンドをお持ちの方を含む20名が参加。豊島美術